



# ら び っ く La・BOOK

5月号

No.23

豊科図書館の話題書ピックアップ

## 生誕百年 高橋節郎展

今年、高橋節郎は生誕百年の記念の年を迎え、安曇野高橋節郎記念美術館、安曇野市豊科近代美術館の2会場において「生誕百年 高橋節郎展」を開催しています。



そこで、高橋節郎の人と芸術に関わる資料をピックアップしました。どうぞ手にとってご覧ください。

『漆 高橋節郎黒と金の世界』

／高橋節郎

『漆はジャパンである』

／北國新聞社編集局

『漆塗り』／豊島 清

『崖っぶちの木地屋』／松本直子

『南木曾の木地屋の物語』／松本直子

『漆への憧憬』／ジョン・スターカー

『漆百科』／山本勝巳

『日本の工芸2』／谷川徹三

『なぜ、日本はジャパンと呼ばれたか』

／中室勝郎

『安曇野高橋節郎記念美術館』

『調べて学ぶ日本の伝統1』

『柴田是真』／安村敏信 など

堀金図書館

奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

### 安曇野市の道祖神に関する書物は？

安曇野市には、600体とも言われる道祖神が、いたるところで見られ、旅人の安全と、住民の暮らしを見守っている。各地域別道祖神の数は、穂高150余体、堀金67体、三郷75体、豊科135体、明科146体である。



道祖神には「縁結び」「疫病退治」「五穀豊穰」「家内安全」「子孫繁栄」など住民の願いが込められている。道祖神という文字を刻んだ文字碑、男女双体道祖神の祝言(酒器)像、握手像、笏扇像、接吻像などほほえましい愛の形が表現され、信仰としての道祖神の姿がある。安曇野の村々の歴史・文化に深く根付いた道祖神様が偲ばれる。

そんな道祖神を紹介した本は、写真入りで以下のように出ている。

＜安曇野を中心にした道祖神の本＞

『安曇野と道祖神』 降旗勝次／編集

『安曇野道祖の神と石神様たち』 西川久寿男／著

『道祖神をたずねて 穂高』 石田益雄／著

『道祖神をたずねて 豊科・堀金』 石田益雄／著

『安曇野道祖神』 日本石仏写真家協会／撮影

『南安曇郡誌』 第2巻(下) 607p～

道祖神シンポジウム『道祖神が開く安曇野の未来』

### 私と図書館

これまで生きてきた中で体験した沢山の辛いことや悲しいことも、図書館の中にいる時は、暫し忘れさせてくれます。先月、大きな窓から美しい桜を眺めながら本を読んだひとときは、本当に心を和ませてくれました。

今、これらの本の名を書き連ねていると、あの頃の自分の姿が懐かしく浮かんできます。校内の図書室で本に囲まれている幸せ感とその頃味わったのが、今に続いているようです。図書館の棚に並べられている全ての本を私は読むことができない、というのはなんて贅沢なことでしょう。

振り返ってみれば、私が読書好きになったのは、中学一年生の時に図書委員に選ばれ、沢山の本と出会ったからだと思えます。とりわけ外国児童文学にはまり、『紅はこべ』『岩窟王』『若草物語』『あは無情』等々、物語に引き込まれて、まるで自分が主人公になったような気持ちになりました。



文学少女のその後？

(60代 女性)

## 4月貸出ランキング

### 一般書

- 1 祈りの証明/森村誠一
- 2 神様のカルテ 2/夏川草介
- 〃 神様のカルテ 3/夏川草介
- 〃 教場/長岡弘樹
- 〃 ランチのアッコちゃん/柚木麻子
- 〃 村上海賊の娘 上巻/和田 竜
- 〃 約束の海/山崎豊子
- 〃 内通者/堂場瞬一
- 9 穴/小山田浩子
- 〃 山桜記/葉室 麟
- 〃 虎の尾/今野 敏
- 〃 祈りの幕が下りる時/東野圭吾

### 児童書

- 1 バムとケロのシリーズ/島田ゆか
- 2 かいけつゾロリシリーズ/原ゆたか
- 3 しろくまちゃんのほっとけーき/わかやまけん
- 〃 冒険! 発見! 犬迷路大魔王の復活/原 裕朗
- 〃 ミッケ! 6/ウォルター・ウィック

### AV資料

- 1 崖の上のポニョ/宮崎駿監督
- 2 魔女の宅急便/角野栄子原作
- 〃 聯合艦隊司令長官山本五十六/成島 出監督
- 4 紅の豚/宮崎 駿監督

三郷図書館から

## 本のソムリエ(職員) おすすめ本

### 一般書

『奇跡の職場』 矢部輝夫/あさ出版

### 表紙

お掃除の会社「テッセイ」おもてなし創造部長の矢部輝夫氏の実体験を著したこの本は、今流行りの“おもてなし”の本質を私たちに教えてくれます。『清掃』というと“きつい、汚い、危険”といったマイナスイメージがつきものですが、目標を、「清掃」はもちろんのこと、もう一つ「旅の思い出づくり」と定め、新幹線清掃チームが“働く誇り”をもつに至った取り組みは、実に新鮮で感動ものです。

### 児童書

『ずどんといっぱつ すていぬシンプだいかつやく』

作 ジョン・バーニンガム

訳 渡辺茂男/童話館出版

### 表紙

捨て犬シンプは、食べ物を求めてさまよったあげく、野犬収容所に行くはめになりました。でも勇気を出して逃げ出し、サーカスのキャンプでピエロのおじさんと出会って、食べ物をたっぷりもらいます。ピエロのおじさんには心配ごとがありました。そこで、シンプはおじさんのために大活躍します。ほのぼのとした絵が、とても効果的な心温まるストーリーです。

## 5月は「図書館振興の月」

### ぜひ図書館へ!!

昭和25年4月30日、図書館法が制定され、日本の図書館活動は新しく生まれ変わりました。日本図書館協会は、この日を「図書館記念日」とすることにしました。



さらに、図書館記念日につづく5月1日~31日を「図書館振興の月」とし、図書館はさまざまなプログラムを企画してお待ちしています。ぜひ図書館へお出かけください。

豊科図書館には、司書が折り紙で作った機関車や駅が待っています。



## 三郷図書館休館のお知らせ

年1回の特別整理期間と休館日のため、5月26日~6月2日の8日間は休館しますので、ご理解とご協力をお願いします。

### 編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111  
 豊科図書館 ☎71-4022  
 三郷図書館 ☎76-3078  
 堀金図書館 ☎72-5796  
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)  
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※  
 安曇野の山々の木々が一首に若芽を吹いて、明るいう顔になった。この様子は「山笑う」といわれる。「春の芽吹きはじめた華やかな山の形容。冬季の山の林しさに対していう」と広辞苑にある。  
 夏は「山滴(したた)る」、秋は「山粧(よそお)う」、冬は「山眠る」と、それぞれ季節語として使われている。